

にぎやかに

「退職者を励まし」

新加入を祝う会

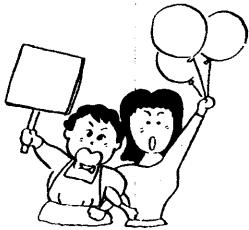
定期総会に続いて会場を4階ホールに移し、91名が参加して前記の催しが盛大に行われました。

退職者は勤評闘争後の厳しい職場で高教組に加入した人びとで、かつての日々を感慨深く、こもごもに語っていました。

また高教組新加入者が拍手のうちに自己紹介、祝福を受けました。

高退協からは44名が参加して、高教組「ダンシングチーム」の若さあふれる踊りにあっけにとられたり、久しぶりの再会に杯を重ね遅くまで旧交を暖めていました。

当日までに11名が高退協に加入し、新年度は374名の最高の会員数でスタートすることになりました。



第7回ミーデー

政治変え、生活改善を

県中央集会は快晴のもと、新緑が映える丸の内緑地公園に千三百人が参加して行われました。

共産党を代表した山原代議士は「きたるべき総選挙で自公政治の刷新を」と訴え、決意表明で高教組の熊沢教文部長は「すべての高校生に就職保障を」、西森稔年金者組合代表は「年金削減に若者も怒りの抗議を」と訴えました。

高退協からは20名近くが参加して高教組とともに進行、終了後は緑地の芝生で疲れをビールでいやし、現職と懇親を深めました。



『老・眼・鏡』



「寅彦と虎彦」(2)

窪田一郎

中央にデンと据わった二人の「とらひこ」、九〇頁の力作です。二人の出会いをはじめ、それこそあらゆる視点からのアプローチ、驚嘆すべき息の長さ、ユニークさ、興味津々で本書中の圧巻と思います。

「専門分野での不充足感を主に芸術分野、とりわけ文学で」「自然科学者のすぐれた随筆家の系譜中巍然たる一高峰として聳立」「文学を感覚的、叙情的描写だけのものにしてしないで、主観と客観という異なった両者に、同根性、相関性を認

旅のしおり

林応子

出無精の私を娘は旅行に連れ出す。出るまではおっくうでも一足踏み出すとウキウキしてしまうのはなぜだろう。すくなくともこの間は家事から解放される、上げ膳据え膳の生活はこれえられない。

昨年フランスへ行ったときのこと、旅でのハプニングはこれまた楽しいもの。関空で出発便が6時間遅延したときは呆れてしまったが、JTBの待合でゴロゴロして、もらった食事券で食堂へ。うんざりだがこれも経験と思いなおせばちよっぴり面白い。このときの旅は帰国便もダブルブックキングで、席がなく7時間遅れで変更。まあ当たりのよいこと。

エールフランスからの立派なお詫び文(いつものことらしく印刷されていた)と見事な対処(しよせんは金)で客を我慢させる。一泊すれば楽なのだが、夏休みの終わりのことで仕事が残っている。一便遅れで乗り継ぎ、予定になかった北京の空港の中をトットコト



めて「その科学と文学の基底には、詩人、寺田寅彦の詩魂があった」と述べておられ、つくづく共感です。足摺岬の評判と虎彦作品の背景の鮮烈さに惹かれて触れた私でしたが、言いよりのない登場人物の運命に辟易して遠ざかりました。榊原氏、「田宮文学を貫くヒューマニズムは結局好きな人を恋う文学だと思ふ。(中略)つまりは弱者への愛を持つ人が好きなのである」「男女とも登場主人公が何らかの意味で弱者であるから、純美ながらやりきれない田宮独特の非傷性が漂って」と述べられ、「ある女の生涯における自由民権的素材」で、田宮文学の発想の根底とか叙述の態度には、明らかにその思想や運動と通ずる社会認識の眼光がきらめいているのを覚える」とされています。これらの叙述、浅読を認識させられ、虎彦集今机上です。



ットコアヒルの行列で歩いたのも懐かしい。念願のロワール城巡り、パリでは同じ宿に4泊しメトロを乗り継いでしつかりと歩いてきた。入場券購入と入場待ちの手間を省く為に、美術館の一日見学券を買って、三ヶ所みれば元を取ると張り切ったのにルールとオルセーだけで時間切れ：足が棒になる。それでもまた行ってみたい。

「訃報覚え書き」という小稿、「まさに晴天の霹靂、私には信じられないことだった」「木戸昭平氏から電話」とあり、文人どうしお互いの心根さすがです。学生時代から愛読、傾倒された虎彦の投身自殺、氏のシヨックの大きさが伝わってきます。「夫人亡後の作品活動もこれといったものがない。その意味で私にとっては、意外とは思えない最後と受けとめている」との大原富枝氏の談話、「急な取材で言葉足らずになった恨みはあるが、一寸疑問に感じた」と控え目ながら文句をつけておられます。「なんじゃ、この言い方は」と思ったこと、鮮やかに思い出した私ですが、今「大原氏らしいな」と思うところではあります。研究的な部分、噛みしめながらですが、随所の紀行的なところ、快いテンポで読ませてもらいました。抜き書きいっぱい、意もつくしません。榊原先生には、非礼、心からお詫びします。最後に、よくもこんなに涉猟、調査、また歩いてとおそれいます。そこらあたりの、やつつけ仕事しか出来ないわが身、爪の垢でも心したいと思いました。

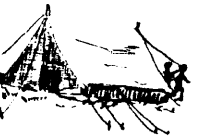


寄稿のお願い

退職後は音信も途絶えがちです。それだけに高退協ニュースを旧知を温め、近況を伝える「会員の広場」にしたいと思いますので、皆さんの積極的な寄稿をお願いします。

- 例えば
- 〈わたしの健康法〉 〈旅の体験記〉
- 〈近況やご意見、会員の消息〉
- 〈老眼鏡〉 読書、映画などの感想
- 〈俳句、短歌、川柳、詩〉
- 〈高退協へのご意見、ご要望〉
- ◇紙面の都合で若干調整させていただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ◇原稿送り先 〒780-8082 高知市若草南町10-2 南 千加良 宛

# 高教組だより



国会の「憲法調査会」での危険な改憲動向に加え、小淵前首相の私的諮問機関としてスタートした「教育改革国民会議」が「個人の能力や個性にあった教育制度」が必要として、教育の更なる競争・選別化を打ち出しつつ、これまでタブーとされた教育基本法の改悪を戦前の教育勅語を復活させる形で行おうとしています。

今国会での見送りが予定されていた少年法の改悪が日程にのぼっています。青年の保護育成を中心とした現行法を規制強化の方向で改悪しようとしています。

県内では、県教委が、文部省の指定を受け、「人事管理の在り方に関する調査研究会議」を一〇名でスタートさせました。教員の意識改革や「指導を要する教員への対応」が一方的に論議されています。教員の多忙化や精神的ストレスをかえりみない、不当な管理・統制の手段としての利用が危惧されています。

こうした情勢の中で、高教組を強く、大きくすることがますます求められています。五月六日の「退職者を励まし新加入者を歓迎する会」の当日の昼間、新加入者の学習会を開催、夜の会では四名が壇上であいさつし、参加者全員から歓迎の拍手を受けました。一人でも多くの仲間を迎え、ともに学び、ともに成長する創造的活動を展開していきたいと思えます。

また、高教組では、学習と批判そして提言を基本として、積極的保護者、県民、生徒との論議を進めていきたいと思えます。

(執行委員長 井垣政利)



## 高退協活動日誌

### 【3月】

- 2日 平頂山事件裁判支援集会
- 4日 高教組総括会で「こうたいきょう」購読を訴える
- 14日 高退協事務局会
- 26日 「自由は土佐の山間より」を県詞にする実行委員会結成総会
- 29日 自由民権会館開館10周年記念行事

### 【4月】

- 2日 自由民権会館10周年記念祝賀会(得月楼)
- 11日 高退協事務局会
- 17日 高退協役員選委員会
- 25日 藤本和子先生の葬儀参列

### 【5月】

- 1日 メーデー集會に21名参加
- 3日 憲法記念日集會に17名参加
- 6日 定期総会参加者32名、高教組退職者・新加入者を励ます会参加44名

## テニスへのお誘い

毎週月曜日と金曜日の9:30~11:30の2時間、春野運動公園のテニスコートでやっています。参加費300円、歩ける方なら参加可、初心者コースから各コースまで多彩。問い合わせは窪田一郎(844-0333)

## 相撲三知識 三十八

林 勤

### 大相撲を支える人々(12)

床山(とこやま) (1)

床山とは力士の髪結いさである。採用規定は「義務教育終了の満十九歳までの男子で適格と認められるもの」となっている。身体検査と面接がある。

採用されると相撲部屋に所属するが、その部屋は本人の希望によるものであり、床山には特別な教習機関がないので、三年間は見習い期間として先輩床山にいろいと教えられる。

階級は特等(現在二名)、一等(九名)、二等(十一名)、三等(十三名)、四等(十名)、五等(七名)、見習い、となっている。

給料は最初から支給される。勿論階級別給料であるが、その額は公表されていない。

定員は五十名以内となっているが、技術を伝えてゆくために現在は一時的に五十五名としている。今年三月場所時点では五十二名いる。定年は六十五歳である。ところで、力士のマゲ(髪型には大銀杏(おおいちよう)と丁髷(ちよんまげ)の二つの型がある。

大銀杏は十両以上の力士が公式の場(本場所や巡業

などの取組み、横綱、大関昇進力士が協会の使者を迎える時、引退の断髪式などで結うもので、髷の先を銀杏の葉のように大きく広げて結うのでこの呼名がある。立派な美しい髪型である。

大銀杏を結えるのは原則として十両以上であるが、幕下、三段目力士でも①幕下力士が十両と対戦する場合、②弓取り、初っ切り(しよつきり)、相撲甚句を行うとき、③引退して部屋で断髪式を行うとき、などには大銀杏を結う。

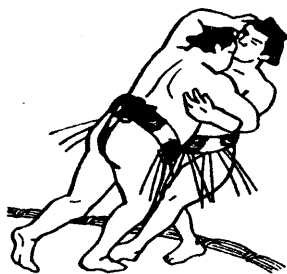
丁髷は、時代劇の丁髷のように髪をひつつめて元結(もとゆい、転じてもつとい)紙の紐)で結んだものである。

幕下以下の力士は、右に述べた限られた場合以外は本場所の取組でも丁髷である。十両以上の力士も公式の場以外では丁髷である。

地方巡業では、土俵上で大銀杏を結う実演を見せる。揃え櫛、荒櫛、梳櫛、前掻きの四種類の櫛を使い分けて手際よく結い上げ、畳針を改造したまげ棒で大銀杏の両耳の上や後頭部を張り出し、最後に先を銀杏の葉のように広げて握り鉢で切り揃える。見事な手捌きである。櫛はツゲ製、髪の長さは40~45センチくらいがよいそうである。大銀杏を結えるまでには五十年、丁髷でも二、三年はかかる。

(つづく)

### 寄り倒し



相手の体と自分の体(胸と胸、腰と腰)を合わせて倒す。相手の廻しは引いて、引かなくてもよりよい。相手の打つ素りと投げに注意し、勇み足にならないようにすることが大切。

第46回 高知県母親大会 合同集会  
母と女教師の会  
7月2日(日) 西高校  
9:30~16:40  
講演 「人材は宝ー『釣りバカ日誌イレブン』の監督の挑戦」  
講師 本木克英さん (松竹映画監督)

第46回日本母親大会 in 東京  
全体会 7/29(土)  
分科会 7/30(日)

記念講演 黒柳徹子さん  
「私の会った世界の子どもたち」  
今年も代表派遣のための物品販売をしています。ぜひご協力ください。

### 戦争遺跡保存全国



### シンポジウムに協力を

自衛隊を告発する写真展を開いたフリーカメラマンの福島菊次郎さんは、「戦後はまだ始まっていない」と言います。日本は五五年

まへの戦争の総括をせずに、世界第二の軍事大国になっ

ている、戦争体制はずっと続いているからだ、と言います。だから森首相の「神の国」発言も出るべくして出たのです。

同封の開催要項のように、八月一八、二〇日に南国市で第四回戦争遺跡保存全国シンポジウムが開かれます。南国市と市教委が後援し市民が現地実行委員会をつくり、「戦争と平和展」も企画し、準備におおわらわです。参加者は県内外から約三〇〇人の予想です。

会員の皆さんも運営への協力、当日の参加など、色々支援をお願い致します。(戦争遺跡保存シンポジウム事務局 窪田充治)

### 高退協活動日誌

【5月】

12日 県退教総会で、高退協会員の中で県退教に加入してきた高校部(23名)の廃部が承認される。県退教と高退協の協力共同

### ☆研修旅行のお知らせ☆

今年の高退協研修旅行は 16回目を迎えます 第1回目から皆勤の浜田昌俊さん・14回参加の池上寿雄さん 本間にうれしい常連さん達に支えられ今日迄続いて参りました 有難う御座います 2000年の研修旅行は「古都奈良」の古代ロマンに浸りながら 紅葉の吹雪を浴び楽しい研修を計画したいと準備中です

奈良は 研修どころが多すぎて ピックアップが大変です 好いプランがありましたらご連絡下さい 係は旅行業者数社により良い内容・より安い費用について折衝中です次回には具体的な計画をお知らせ出来ると思います どうぞお誘い合わせて ご参加下さいますようお願い致します

夜は ゆっくりくつろいで お酒を酌み交わしながら 旧交を暖め合いたいと思います

旅行予定日 12年11月7日(火)~8日(水)1泊2日  
申し込みは 研修旅行担当  
西込☎875-9029 古味☎873-7123  
三谷☎831-4266 西田☎842-2070

**第二回高退協親睦囲碁大会**

初回の好評をうけて、第二回大会を次のように開催いたします。多数の参加で、特に初心者多数参加でもりあげてください。

記  
日時 8月6日(日)AM10.00~(9.30受付)

会場 日本棋院高知県支部囲碁会館  
(大川筋1-3-39 土佐建材ビル2F) 土佐御苑前

会費 1500円 (昼食代含む)

参加者の範囲：高等学校・障害児学校・私立学校の現職教職員及び退職教職員 (初心者歓迎)

連絡先 0887-55-3432 (谷内純一)  
862-0488 (野島辰平)  
875-9029 (西込 曠)  
831-6498 (小川和俊)

※集約日 8月1日 (これまでにお申し込みください)

※競技方法はスイス方式  
主催 高等学校退職教職員協議会  
後援 日本棋院高知県支部

### 相撲三二知識 三十九

林 勤

大相撲を支える人々(13)  
床山(とこやま) (2)

力士は場所後一週間ほど休息するが、それ以外は年中毎日稽古である。従って全力士(今年五月場所時点で約八〇〇人)が毎日一回きれいに髪を梳いて鬘を結

関係の発展を誓い合った。16日 事務局会

17日 互助会にサークル活動補助として夏季学習講座、芸能交流会の二件を申請(六月末日に認可通知あり)

25日 県学校生協結成5周年記念祝賀会

26日 市役所前での、「神の国発言」に抗議する昼休み集会に5名参加

27日 原水禁平和行進の高知市結集集会に参加

【6月】

2日 国会解散に伴う山原代議士引退激励集会以花束を贈呈

3日 高退協幡多支部の懇親会に浜田昌俊顧問が出席

13日 総選挙公示 後援会活動を強化

25日 総選挙投票日 山原先生から浦田氏へのバトインタッチ成らず、春田氏が四国比例で再選される

27日 県教委福利課長に①サークル補助と②医療補助について拡充を要請し、文書を提出。互助会高知市支部にも同様の要請をする。

事務局長をもつた後援会送迎会をもつ。

30日 全退教四国ブロック代表者会(川之江市)

【7月】

7日 全退教定期総会に岡崎会長出席

8日 県革新懇総会、20周年記念祝賀会

う。本場所以外は全力士が丁髷であるが、場所中は十両、幕内力士は勿論大銀杏である。年中殆ど休みなしの鬘結は大変である。

本年一月の高退協ニューズNo.102で述べたように一枚の相撲番付に力士、親方、行司、呼出し、すべて載っているのに何故か床山だけは出ていない。また、テレビに映ることもない。只一つ、優勝力士が表彰式の前に支度部屋で大銀杏を整えているのが少し映ることがあるが、文字通り裏方さんである。

この機会に床山の階級と櫛について少し述べておきます。

階級名は呼び方が面白い。階級名と標準的な昇進基準は次のようになっている。

上位から特等——勤続四十五年以上、六十歳以上、四十五歳未満でも三十年以上で特に優秀なもの、一等——三十年以上、三十年未満でも二十年以上で特に優秀なもの、二等——二十年以上、二十年未満でも十年以上で特に優秀なもの、三等——十年以上、十年未満でも五年以上で特に優秀なもの、四等——五年以上、五年未満でも三年以上で特に優秀なもの、五等——三年以上、三年未満でも一年以上で特に優秀なもの、見習期間とされている。見習期間中にやめると退職金(額は僅かではあるが)が出ない。

次に、見事な大銀杏を結上げる四つの櫛とまげ棒であるが、

櫛い櫛——洗髪後の髪を当座揃えるのに使う、使用度が一番多い。

荒櫛——油をつけてから一番最初に纏れている毛、固まっている毛を解くのに使う。

梳櫛——歯の細かい櫛で「かもじ」をつけて髪を梳く。汚れやフケなどをとるときに使う。仕上げの段階で鬘の前方、額の上の毛をかき上げる。

まげ棒——鬘針を改造したもので、大銀杏の両耳の上や後頭部の張り出しの部分をきれいにすのこに使う。(次回は若者頭、世話人について述べます)

### 全退教第10回総会開く

着々と発展つづく  
全国の組織



全退教第10回定期総会が7月7日、東京都内の全教本部ビル7階ホールに43組織70名の代表が参加し活発に協議の上、全議案を満場の拍手で承認、役員選出(二〇〇〇年、二〇〇一年)を行い、総会宣言を採択して無事終了しました。

相場、黒田の両氏を議長団に選出。有賀会長のあいさつ、全教長谷川副会長のメッセージの後、井上事務局長が①役員改選問題、②99年度の活動の総括、本年度の活動方針を提案。

決算・予算の承認の後、質疑討論に入り、23名が発言、高知からも竹村(県)岡崎(高)の両名が、組織拡大、総選挙闘争等につき取組を報告しました。

役員改選では、会長、副会長(3名)事務局長、次長、会計、監査は留任しましたが、各ブロック(6地区)選出の幹事が全員交替しました。四ブロック選出幹事は西森稔氏から吉岡輝雄氏(愛媛)に交替しました。

本年度の主な行事として①第9回全国学習交流集会は11月20・21日京都の花の家で ②第6回全退教ツアーは9月下旬、2泊3日で「出雲古代文化探訪」、が予定されています。

### 旅を楽しむ

矢野 正展



見知らぬ国を旅する事は、私の退職後の最大の楽しみの一つである。

ローマのレオナルド・ダ・ヴィンチ空港から、ロンドンのヒースロー空港へ、アリタリア(イタリア航空)で飛んだ時の事。若い男性客室乗務員が、食事の後片付けの折り、食器のプラスチック容器を一つ通路の床に落とした。私は日本流に、すぐ彼が拾い上げるものと予期していたが、誰も拾わない。当の客室乗務員が、忙しそうに通路を通るたびに、その容器は音を立てて踏みつけられ、或いは職飛ばされ、それに、他の乗務員や乗客の足の動きも加わって、容器は機の前の方へ、後の方へと移動を続けた。

そこには、私が日本から持って来たものとは、かなり異なるルールや哲学が在るように思われた。それが何かを尋ねるだけの語学力の無いのが残念である。私はただ勝手な空想を楽しむのみ。ワインは美味しく、機内サービスには十分満足であった。

やがて、機はヒースロー空港に近づき着陸態勢に入ると、機内に緊張感が高まり、やがて着地。エンジンが逆噴射し、ブレーキがかかり、ほっとした瞬間、機内に歓声と拍手がわき起こった。笑顔を交わしながらの、開放的で陽気な拍手に私もすっかり包み込まれていた。飛行機を降りる時、例のプラスチック容器は出口に向かって移動を続けていた。

別の日、アメリカのオレゴンで食堂に入った時の事である。床が塵で、すごく汚れているのに驚いていると、案内してくれた方(日米両方の大学に学び、アメリカ人を妻として三十余年アメリカに暮らす日本人)が、塵の多いのは客が多く繁盛し、食べ物美味しく証拠です。貴方も美味しかったら、少し塵を落とすとアドヴァイスしてくれた。この塵とアリタリアの塵の關係は分からない。

旅先で異なる価値観や美意識に直面すると、私のナ

### 俳句



6月5日(月) ゆとりすとパーク おおとよ

合田 青幹

陶欄に在り薫風を満喫す

ハープの名カタカナばかり梅雨に咲く

田所たねを

下戸なれどビール大好き花ホップ

昼寝して良き夢見たしハープの香

吉本 伸秋

九輪草一茎凛と山気帯ぶ

おだまきの深山の靈気宿したる

中内みち代

ハープ園標高八百南吹く

噓せかへるハープの香り夏めきし

小笠原さちを

稍遣いつ香を絡ませつ忍冬

これはこれは二人静の山路かな

### 日本高齢者運動

#### 連絡会総会開く

日本高齢者運動連絡会第九回総会が五月二七日東京都千代田区プラザエフ(主婦会館)で開かれた。一九九九年活動報告・会計報告並びに監査報告、二〇〇〇年度活動方針、予算案承認、年金・医療制度の改善、ゼロ金利政策など高齢者をとりまく厳しい情勢の中での連絡会の組織強化、四月スタートした介護保険の実施に伴う様々の矛盾・不合理・問題点とその対応、今後の改善運動の進め方、各地域での具体的な活動報告があり、役員選出、決議・よびかけ、アピールを採択して終了。



「輝く高齢期実現をめざす十カ年行動計画」の策定を課題に下記日程で第十四回大会を開きます。

第十四回日本高齢者大会  
横浜市パシフィコ横浜  
二〇〇〇・一〇・一(第一日)  
PM 一・〇〇  
学習講座・分科会・特別講座  
二〇〇〇・一〇・二(第二日)  
AM 九・〇〇  
全体会・記念講演  
脚本家小山内美江子氏  
(古味)

シヨナリスト的部分が頭をもたげ、自らの価値観に安住しようとする傾向を持つが、思い切つて、異なった価値観にとっぴりつかり、その中から、あれこれと考え、理解を深める努力をしてみるのも、旅の大きな楽しみの一つである。

### 「老・眼・鏡」

中岡鉄夫

大平光代著  
「だからあなたも生きぬいて」

昔、映画に「格子なき牢獄」というのがあった。今学校で「苛め」が行われている。子供達にとって、学校はまさに「煉獄」そのものである。「だからあなたも生きぬいて」(大平光代著、講談社)を読んだ。中二で自殺未遂、入れ墨をして極道の妻に迄なり、その後養父大平氏の援助により立ち直り、司法試験に一発で合格(中卒では初めて)、弁護士になり非行少年少女の輔導に当たっている。彼女の壮絶な人生は、実に多くのことを訴えている。

文部省は、学校に差別と選別を持ち込み教師たちを苛め抜いている。解同による学校教育への介入により、教員の自殺及び過労死は二十九名に及んでおり、教育委員会は彼らに同調して、解同の教育介入に加担している。

国の借金は四九三兆、地方のそれが一五二兆、合計六四五兆に及び、銀行救済が六〇兆、国・地方合わせて「ゼネコン型公共事業」に五〇兆、社会保障には、たったの二〇兆、医療費の高騰は、国民苛めの典型ではないのか。

六五才以上の老人は、かの忌まわしき軍国時代に生を受け、なんにもない苛酷な幼少時を過ごし、その青春は戦塵にまみれている。今や老境になり、年金の減額や消費税(増税予定)で苛めぬかれています。

この国の大臣は自ら賄賂を請求するという。なんと終期「そのものである」。